



2009年2月26日

## **ニュー BMW 7 シリーズ・ハイブリッド・モデルを 2010 年に導入**

➤ エフィシェント・ダイナミクスをさらに加速

ビー・エム・ダブリュー株式会社(代表取締役:ローランド・クルーガー)は、本日、ラグジュアリー・セダンニューBMW 7シリーズにガソリン・エンジンと電気モーターを搭載したハイブリッド・モデルを導入することを発表しました。これに伴い、BMW グループが世界展開を目指す、高性能かつ低燃費を実現したコンセプト、「EfficientDynamics(エフィシェント・ダイナミクス)」がより広く日本市場に普及されます。7シリーズ・ハイブリッド・モデルは 2010 年夏より受注開始の予定です。

今回の発表で、代表取締役、ローランド・クルーガーは次のようにコメントしています。「ニューBMW 7 シリーズ・ハイブリッド・モデルの導入は、日本市場における EfficientDynamics の展開の一環であり、エネルギー保存と環境問題への包括的な取り組みを具体的に示す試みです。」さらにクルーガーは次のように述べています。「このような包括的な取り組みは、持続可能な自動車環境の未来を実現させるためにも、不可欠な姿勢です。」

ニューBMW 7 シリーズに採用されるハイブリッド・テクノロジーは、高いドライビング・パフォーマンスを維持しながら燃料消費の低減を実現させた、2 モード・システムが基となっています。BMW が提供する次世代ハイブリッド・テクノロジーとして日本で初めて紹介されたモデルは、2007 年の東京モーターショーに登場した X6 アクティブ・ハイブリッドのコンセプト・カーでした。

### **EfficientDynamics**

EfficientDynamics とは、BMW が最重要に捉えている、高性能と低燃費の両立を追求するための長期的なエネルギー戦略です。

BMW グループは京都議定書の目標達成を目指し、近年、燃料消費量の削減に関して集中的な取り組みをおこなってきました。BMW のエネルギー戦略は 3 つのステップに細分化されます。まず、短・中期的な見通しにおいては、新しい高効率エンジンや洗練されたエアロダイナミクス、最新に考案された軽量素材やエネルギー効率化システムなどを採用しながら、燃料消費量の低減を目指します。これらすべての試みは、EfficientDynamics のコンセプトに反映されています。

中期的な計画では、ドライブ・トレインの電動化、ハイブリッド化の促進といった多角的なアプローチで、さらなる燃費向上を目指します。さらに長期的な計画については、地球環境にもっとも配慮した技術、つまり、再生エネルギーから生成される、CO<sub>2</sub>を排出しない物質、水素エ

エネルギーを内燃エンジンに使用するシステムの実用化です。2006年11月、BMWグループは7シリーズをベースにした、プレミアム・セグメントにおける初の水素自動車、BMW Hydrogen 7（ハイドロジェン・セブン）を発表しました。

最近のCO<sub>2</sub>低減の実例として、ヨーロッパ諸国のBMWグループ全体における2008年のCO<sub>2</sub>排出量は1995年と比較した場合、25パーセント削減されました。これによって、BMWグループは、欧州自動車工業会(AEAM)の定める基準値を達成しました。

EfficientDynamicsの技術やコンセプトを紹介する新しい公式ウェブサイト、[www.bmw.co.jp/efficientdynamics](http://www.bmw.co.jp/efficientdynamics)は本日より閲覧が可能です。

この件に関する読者および視聴者からのお問い合わせ先は、  
BMW カスタマー・サポート：フリーダイヤル 0120-55-3578 をご掲載ください。  
受付時間：24時間 年中無休  
BMW ジャパン インターネットウェブサイト：<http://www.bmw.co.jp>

この件に関する報道関係者のお問い合わせは：  
BMW Japan Corp. 広報室：03-6259-8026（製品広報）